

# 吃音学び隣人思いやる

## 穂高 3地区合同の人権学習会



吃音について学んだ人権学習会

安曇野市穂高北穂高 権学習会を狐島地区公  
の狐島、青木花見、島 民館で開いた。松本市  
新田の3地区の公民館 筑摩2の神應透析クリ  
はこのほど、合同の人 ニックで「ことばの相

談室」を担当する言語

聴覚士・内藤麻子さん  
を講師に招き、住民ら  
約30人が、言葉の音が  
詰まったりどもったり  
する吃音(カウカウ音)について理解  
を深めた。

内藤さんは、吃音の  
人は周囲に話し方を指  
摘されたりからかわれ  
たりすると話すことが  
怖くなり、症状が悪化  
していくことなどを説  
明。「しゃべりづらさ  
よりも周囲の理解のな  
さに苦しめられる。  
『当たり前』の認識を  
変えていくのが大切」

と強調した。参加した  
女性は「間違った認識  
を持っていた。吃音の  
まま伸び伸び暮らせる  
雰囲気が一番大切とい  
うのが目からうろこ」  
と話していた。

人権学習会は、3地  
区の持ち回りで毎年開

催している。今年も狐  
島地区が担当で、鈴木  
寛館長は「吃音で苦し  
んでいる人がいること  
が広く知られ、より暮  
らしやすい地域になれ  
ば」と願っていた。

(北條彩乃)